

# 初等中等教育分科会高等学校教育部会 審議まとめ

## ～高校教育の質の確保・向上に向けて～

### (骨子案)

〔実線：「高校部会の審議経過について」(H25.1)からの追加項目  
点線：「課題の整理と検討の視点」(H24.8)における記載項目〕

## はじめに

### 序章 高等学校教育部会における検討の背景とこれまでの検討経緯

1. 近年の教育政策の中での高校教育に関する提言
2. 高等学校教育部会の設置と検討の開始等
3. 高大接続に関する諮問と特別部会の設置
4. 高校教育の質の確保・向上に関する検討
  - ・これまでの審議経過、教育再生実行会議での検討
5. 本審議まとめの趣旨・目的

### 第1章 高校教育をめぐる現状

#### 1. 生徒を取り巻く状況の変化

- (1) 生徒の多様化
  - ・進学率の上昇、適格者主義の変遷、能力・適性・興味・関心等の多様化、特別な支援を必要とする生徒への対応、中途退学・不登校生徒の状況
- (2) 基礎学力の不足と学習意欲の低さ
  - ・学習時間の減少、学習意欲の課題
- (3) 大学入試の選抜機能の低下
  - ・大学進学率の上昇、学力不問の入試、学習意欲を喚起する機能の低下

#### 2. 学校・学科や教育課程の変化

- (1) 学校・学科等の多様化
  - ・普通科高校の量的拡大と専門高校の割合減少
  - ・単位制高校制度の導入・拡大、総合学科の創設、学校間連携・学校外学習の単位認定制度の拡充、中高一貫教育の制度化
  - ・定時制・通信制課程の役割変化
  - ・各都道府県における地域の実情に応じた各学校の特色化、少子化に伴う再編整備
- (2) 教育課程の多様化
  - ・学習指導要領の改訂に伴う必履修教科科目の変遷

### 第2章 高校教育の質の確保・向上に関するこれまでの取組と課題

#### 1. 高校教育に対する信頼性のゆらぎ、質の確保と多様なニーズに関する要請

- ・変化の激しい社会、社会人として自立していく上での基本的な能力の低下、学校から職業・社会への移行の課題
- ・社会の一員として求められる力の要請
- ・多様なニーズへ対応の必要性

## **2. 高校教育として求められる質の確保**

### **(1) 質の確保・向上のための制度・仕組み**

- ・公的な制度・仕組みによる質の確保・向上
- ・各学校の教育条件等の整備、学校運営の向上
- ・教育内容・水準の担保
- ・生徒の資質・能力の状況の把握・検証

### **(2) 設置者・学校等による自主的な取組**

- ・自主的な取組による質保証・向上、地方公共団体における学力調査等
- ・校長会による標準テスト、検定試験等の活用

### **(3) 高校教育として求められる質の確保に係る要請**

- ・基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着や、思考力・判断力・表現力等の育成、主体的に学習に取り組む意欲の育成等

### **(4) 広域通信制課程等における課題**

- ・添削指導や試験等における不適切な事案等
- ・所轄庁によるサテライト施設等への関与

## **3. 多様なニーズへの対応**

### **(1) 多様なニーズに対応するための取組**

- ・高校教育改革の取組・成果
- ・キャリア教育、職業教育の取組
- ・中途退学者や不登校生徒、特別な支援が必要な生徒を支える取組

### **(2) 多様化する高校教育における課題**

- ・普通科や総合学科、専門学科、定時制・通信制課程に関わる課題、学校外単位認定の推進や早期卒業制度の創設など高大連携の必要性
- ・中途退学者や不登校生徒への対応、高校教育における目的意識の希薄化、特別な支援が必要な生徒への対応、産業・就労構造の変化への対応、ICT技術の進展への対応、キャリア教育・職業教育などの充実

## **第3章 高校教育の質の確保・向上に向けた基本的考え方**

### **1. 全ての生徒に共通に身に付けさせる資質・能力の育成【共通性の確保】**

#### **(1) 全ての生徒に身に付けさせる資質・能力「コア」**

- ・「コア」の範囲、「コア」の要素
- ・必履修教科・科目等との「コア」の関係

#### **(2) 全ての生徒に身につけさせる資質・能力の把握・評価**

### **2. 多様な学習ニーズへのきめ細やかな対応【多様化の推進】**

- ・多面的な幅広い資質能力の評価
- ・学校から社会への円滑な移行の推進
- ・多様なニーズへの支援の充実
- ・教員の資質向上と学校運営体制の確立
- ・不適切な事案を防ぐ仕組みの必要性

## **第4章 高校教育の質の確保・向上に向けた取組**

### **1. 学習成果や教育活動の把握・検証**

#### **(1) 達成度テスト（基礎レベル）（仮称）の導入**

※別紙参照

#### **(2) 多面的な幅広い資質・能力の評価**

- ・多面的な幅広い資質・能力の評価手法の開発・普及
- ・技能試験等の活用推進

### **2. 高校教育の質の確保・向上を支える取組**

#### **(1) 学校から社会・職業への円滑な移行推進**

##### **① 普通科等におけるキャリア教育等の推進**

- ・地域、社会や産業界との連携・協働の推進
- ・外部との連携・協働を行う職員の配置の促進
- ・中核人材の育成や拠点校の整備の推進
- ・より柔軟な教育課程の編成を可能とするための制度見直しや先進的な取組推進

##### **② 実践的な職業教育の充実**

- ・先進的な卓越した取組の支援・検証
- ・大学、専修学校等の外部機関との連携の推進
- ・社会ニーズと専門教科・科目のミスマッチを解消するための取組推進
- ・地域・産業界等との連携・交流を通じた実践的な学習活動や就業体験の導入、社会人講師の活用による職業教育の充実
- ・高等学校等の専攻科における学修の大学における単位認定制度の創設、大学への編入学の制度化

##### **③ 総合学科の普及・充実**

- ・優れた教育方法の事例収集・普及の推進
- ・継続的なノウハウを蓄積した中核人材の育成
- ・中学校や保護者等における認知度向上に向けた取組

#### **(2) 多様な教育活動の推進**

##### **① 定時制・通信制課程等における困難を抱える生徒等のための支援・相談の充実**

- ・個々の生徒の状況に応じた生徒指導を行うための教員の資質向上や、スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラー等の専門スタッフの充実
- ・学校間連携の促進や生徒の進路に即した学校外教育機関等の連携促進（大学や企業、ハローワーク、地域若者サポートステーション等との協力）
- ・補習等の支援や外部との連携・協働を行うための職員の配置促進
- ・優れた取組を実践し、学校間連携の核となる拠点校の整備推進

##### **② ICT等の活用による学びの機会充実**

- ・ICT等の活用による対話型・協働型・グループワークを取り入れた新たな学習形態の検証・普及
- ・全日制課程におけるICT等を活用した遠隔教育の実施に向けた検討

##### **③ 優れた才能や個性を有する生徒を支える取組推進**

- ・SSH（スーパーサイエンスハイスクール）やSGH（スーパーグローバルハイスクール）など先進的な教育の推進

- ・優れた才能や個性を有する生徒に対する学校外活動の単位認定制度の拡大
- ・大学等の協力による高度な内容の授業を受ける機会の提供や、学習の成果の適切な評価など高大連携の推進、高校段階における厳格な成績評価の下での早期卒業制度の創設に向けた検討
- ・国際バカロレアの推進及びその趣旨を活かした指導方法等の開発

#### ④高等学校段階における特別支援教育の推進

- ・発達障害等に関する教職員に対する研修の充実
- ・専門性のある指導体制の確保、教員を補助する人員等の人的配置
- ・教育課程の弾力的な運用や指導の工夫による実践の推進、特別の教育課程編成や人的支援の在り方検討

### (3) 改革を支える教員の資質向上と学校の組織運営体制の改善・充実

#### ①指導力のある教員の育成

- ・教育委員会や大学等と連携・協働等による授業改善等の充実に取り組むための研修の充実

#### ②学校の組織運営体制の改善・充実

- ・校務の効率化
- ・思い切った学校運営を可能とするための管理職のマネジメント能力向上
- ・様々な分野から適性のある優秀な人材の登用を促進する仕組みの構築
- ・本人の適性や学校の特性に応じ、長期的な方針に基づく学校運営が可能となるような柔軟な人事配置

### (4) 不適切な事案を防ぐための仕組み構築

#### ①広域通信制の在り方見直し

- ・ガイドラインの作成や第三者評価の仕組み創設に向けた検討
- ・所轄庁の関与の在り方の見直し